真々部新聞　真々部新聞編集委員会 発行
2014年（平成26年）創刊

10月・11月の主な予定

（予定が変わることもありますので、最新情報は関係役員にご確認ください）

10月 4日(土)ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾗﾌﾞあずみの里美化活動
10月 12日(日)市議会議員選挙
10月 18日(土)各小堰障害木伐採(水利)
10月 19日(日)さわやか市民運動会
10月 25日(土)公民館ふるさとウォッチング
10月 26日(日)ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾗﾌﾞ身体清拭布お届け

11月 2日(日)・3日(月・祝)公民館文化祭
11月 2日(日)安曇野市一斉清掃
　　　　公民館清掃(町通り南・北の代議員)
11月 15日(土)人権尊重懇談会
11月 16日(日)区費・神社費・赤い羽根共同募金集金
11月 中旬　新穀感謝祭
11月 下旬　営農生産組合収穫祭

アメシロ駆除

3回目8月9日(土)
4回目8月25日(月)

「今年のアメシロはすごかった！」これが総代の実感です。例年2回の駆除を今年は4回実施し公共の場は何とか駆除できました。何軒か個別対応もしましたが、空き家の木や放置木はかなりの被害でした。来年がちょっと心配です。

社協会費・日赤活動費の集金

8月17日(日)

皆様のご理解とご協力に感謝申しあげます。

真々部区の合計額は以下の通りとなりました。

社協会費　:480,600円(481戸)
日赤活動費:275,918円(473戸)

公園木々剪定・堰さらい　8月23日(土)

区の総代会では、年に数回の真々部公園や殿村公園の整備作業をしています。この日は真々部公園の木々剪定をした後、梓橋東地区のアパート周辺の堰さらいも行いました。

この辺りでは、雨が降ると堰が溢れるというトラブルが発生。溜まった土砂に一因があるとの指摘でした。

堰に大量の土砂が

積もった土砂は 10cm～20cm もあり、わずか 70m～80m の距離の堰から 1t 以上の土砂をかき出しました。かなりの重労働でしたが、これで数年は大丈夫(？)と思われます。

幹線水路保全作業　（梓川土地改良区）

8月24日(日)

8月22日から24日までの間、幹線水路が止水され、真々部では中萱堰・真鳥羽堰で堰周辺の草刈りを行いました。ハチや熱中症に注意しながら10名の皆さんが作業しました。

レントゲン車が来た　9月12日(金)

結核検診車が市内を巡回し、真々部にも来ました。1 時間余りで 30 人ほどが受信しました。

施設庭園美化活動　（ボランティアクラブ）

9月13日(土)
9月20日(土)

13日は12名が参加して“いいせ新宅”と“真々部児童公園”で 、20 日は 13 名が参加して“たきべ野”で美化活動を実施しました。

公園のトイレ清掃も

施設職員も参加し、玄関先や庭の草刈り・木の剪定など、一緒に汗を流しました。

公民館ワックスがけ　9月25日(木)

業者に委託して、公民館の大中会議室・厨房・廊下のワックスがけを行いました。床の表面を洗浄し、ワックスをかけ、乾燥させます。

洗浄して

ワックスがけ

床がピッカピッカになりました。

消火栓操作訓練

9月20日(土)

殿村・町通り南地区で予定していましたが、雨天のため中止となりました。

第44回豊科福祉チャリティバザー
真々部の皆さんから138点のご協力

真々部社会福祉協議会
9月23日（火）

豊科老人福祉センターにおいて、「第44回豊科福祉チャリティバザー＆ふれあいまつり」が開催されました。地域福祉への意識と理解を深め、福祉の輪を広げることなどを目的に行われる催しです。幅広い世代が楽しく交流できるイベントとしても工夫されています。

真々部公民館に集まった寄贈品
今や貴重な米もありました

真々部では、バザー寄贈品の受け付けを9月15日～18日の間に行い、集積場所となった公民館には、日用品や事務・文具用品、お米・お酒など総数138点の品々が集まりました。受付期間中、公民館には真々部社協会長や区総代の皆さんが当番制で常駐し、受付対応と寄贈品の管理をしていました。まだまだ暑い中でしたが、「ひとりしか居ねし、窓開けて頑張るだ」と、エアコンを使わず作業する姿には頭がさがります。

公民館から会場へ寄贈品を運び込みます。右から区長、区長代理、地区社協会長

「もう使わないものが誰かの役に立つのならうれしい」「終活の一環として身の回りを整理していたら、使えそうなものが出てきた」と物品を寄贈された方々も。真々部地区社協の竹内会長は、「この品々は区民の善意の結晶。心より感謝します」とお礼を述べられていました。

当日は家族連れなど多くの方が来場され、朝9時には既に80人程が並んでいました。9時30分の開場から30分もすると、もう品薄状態になるほど。後から来た方々からは、「もうほとんど残ってないね」と残念がる声が聞こえてきました。

開場前からこの大行列！

一方、バザー会場の外には様々な屋台が並び、小さい子供の元気な声が響くなど、賑わいをみせていました。

どれにしよう？

秋の全国交通安全運動

交通安全協会
9月21日（日）～30日（火）

秋の全国交通安全運動期間中、真々部交通安全協会では区内2ヶ所の交差点で立哨を行いました。通勤通学時間帯、梓橋駅入口交差点付近は行き交う車が多いため、いつも激しい渋滞が目立つところです。約1年前、三郷方面からの右折車線が設けられましたが、今回信号の変わり目に交差点内に進入する右折車が見受けられました。また、真々部北交差点でも、黄色信号にもかかわらずそのまま進行する車がちらほら。急ぐ気持ちはわかりますが、交通ルールは守ってほしいものです。自動車に限らず、自転車、歩行者など皆でルールを厳守し、悲惨な事故を防ぎましょう。立哨を行った安協の役員は、「厳しい夏がようやく終わり、交差点に立つには一番良い季節」と笑顔をみせながら、元気で登校する子供たちに優しいまなざしを注いでいました。

（安協）槙石副会長

暑さなんか吹っ飛ばせ！納涼子ども夏祭り！

子ども会育成会　8月3日(日)
南小保護者会
真々部公民館

暑さなんか吹っ飛ばせ！と『納涼子ども夏祭り』が開催され、子ども 124 名、大人は子ども会育成会、南小保護者会、公民館役員合計約 100 名、合計 224 名程の参加が有りました。

子ども達が学校や家庭だけでは体験できない交流が出来るように、又自主的な行動が出来るようにと願いを込めて毎年開催されています。

今年の子ども夏祭りは「保護者会が実施するゲームコーナー」と「子ども会育成会が中心の、マスのつかみ取りコーナー」に加え、公民館役員が出店した「ワタアメとポップコーンのサービス」、更に子供達を歓迎するために「水色の不思議な生き物、安曇野市のユルキャラ、あづみ～ずの**みずんちゃん達**」が子ども達を待っていました。来場した皆さんは玄関で「みずんちゃん」と記念撮影をして入場です。今年も会場内の混雑緩和、感染症対策のために地区別時間別入場とし、安全対策、感染症対策に注力していました。参加されたお母さんも「あまり混雑しないように、感染症などは怖いですもんね」と賛同の声がありました。ゲームコーナーは小さい子でも楽しめる工夫がされていて子供達は賞を貰ってにっこり、ほのぼのとした会場でした。ゲームコーナーを出ると「綿あめとポップコーン」のサービスが有り、子供たちの笑顔がはじけていました。一方屋外では「マスのつかみ取り」です。子ども達は特設プールの沢山の魚「マス」を見て「すげえ！」と歓声を上げ、裸足になってプールに入りマスを追いかけますがなかなか掴めません。はじめは優しくつかもうとしていましたが逃げられてしまうので、だんだんと力が入り、工夫してコーナーに追い込んで魚を掴むと「やったー！」と歓声を上げて親御さんに見せていました。暑い中でしたが、育成会長が大きな桜の木陰にマス池を作った事で、強い日差しもしのぐ事ができて、バッチリ暑さ対策が出来ていました。子供たちからは、「綿あめや、ポップコーンが有って楽しかった。」ユルキャラが居てビックリしたけど、かわいかった」「魚（マス）がヌルヌルしていて、なかなか掴めなかった」「魚をつかんだときはちょっと気持ち悪かったけど、袋に入れた時はヤッター！て感じ」と話してくれました。運営にご苦労された役員の皆さんもホット一息の様子でした。

みずんちゃんと

ゲームコーナー

ワタアメいかがっすかー

チョットしょっぱい？

桜の木陰で最高！

手作りポスターも定着

【子ども会育成会　高橋会長お礼】

今年は公民館役員さんも企画・運営に協力して頂き、一工夫も二工夫もやってくれました。公民館の玄関やゲームコーナー入り口では安曇野の「ユルキャラ」が子供達を迎えたり、ワタアメやポップコーンを子ども達に振舞ってくれたり、大サービスをして頂きました。おかげで「子ども達の弾ける笑顔と、親御さんが子どもを見守る笑顔」を沢山見る事が出来ました。本当に楽しく、また事故無く夏祭りができました事に改めて感謝いたします。ありがとうございました。

真々部地区敬老会
いつまでもお元気でいてくださいね！

公民館
9月28日(日)

区内に居住する 80 歳以上(前年は 83 歳以上)の方をご招待し、真々部公民館で行われた敬老会。事前に公民館３役と生活・文化・体育の各部役員(合計 21 名)が対象者 247 名を手分けして訪問し、参加のお願い。こうした努力が実を結び、前年から約倍増となる 39 名が出席、楽しい時間を過ごしました。

朝から公民館役員以下スタッフが準備に追われます。敬老会の最中もずっと動き回っていたスタッフの皆さん。本当にご苦労様です

午前 10 時。小山公民館長の挨拶から始まりました

藤原前区長の発声で乾杯！ 飲食をともにしながら会話がはずみます。「初めて参加したけど、とても楽しい」「懐かしい人と再会できてうれしかった」との声も聞かれました

波田少年少女 OB・OG 合唱団の素晴らしい歌声に聞きほれます。アンコールにも応えてくれました。皆がよく知る唱歌の「ふるさと」や「朧月夜」を一緒に歌い、会場全体が盛り上がっていきます

一喜一憂のビンゴ。リーチにはなるんだけど

カラオケ大会で十八番を披露した方々。小山館長、高橋副館長も１曲ずつ。皆さん、「のど自慢」なら優勝確実ですね。会場は拍手と歓声に包まれていました

真々部を元気づけ隊、元気をお届け！

ボランティアクラブ
9月21日(日)

区内の 85 歳以上の 96 名の皆さんにプレゼントを贈りました。ボランティアクラブの声掛けで、区・公民館・地区社協の方々が集まり「子供達の塗り絵、ご長寿のお祝い、お茶やお菓子等」の詰め合わせを、役員で分担してお届けいたしました。お届け先では、矢下筆子さん(中村地区)にお話を伺い、写真撮影には快く応じて下さいました。

矢下さんからは「贈り物ありがとうございます。皆さんによろしくお伝え下さい」と御礼の言葉を頂きました。

2020 年のコロナ禍から始まった「真々部を元気づけ隊」今年で６回目、このような高齢者との触れ合いを続けて行ってほしいものですね。

矢下筆子さん（中村）

袋詰め中

平和を祈る古典舞楽が境内に響く

真々部諏訪神社例大祭
9 月 13・14 日

〜 浦安の舞 〜

14 名の舞姫さんが神事を彩る舞を披露しました

〜 練習風景 〜

8 月 27 日から計 10 日間もの練習をしました

「今の手の振り方よかったです！」
「ひとつ一つの動作を大きくしてやってみて！」

短い練習期間の中で良いところを誉めながら当日に向けて指導する中村久実先生 （上の写真左）

練習は前半は公民館、後半は神社で行いました

舞の練習の楽しみ「おやつタイム♪」の準備

農作物を守る二百十日のお祭り 「風神祭」

稲が開花し結実する大事なこの時期行われる「風神祭」が 8 月 11 日に行われました。ここ数年、風雨や雷雨がない年が続きましたが今年は大雨に見舞われ、この時期らしいと思わせるお祭りとなりました。この日は氏子総代、氏子として区長、区総代が出席してみなさん一緒に神籬を作り、神様を呼んで依代とし、真々部の四方に鎮座していただきました。

修祓から「降神の儀」へ

神の依代「神籬」は水引で縛ります。蝶々結びではなく解けないよう豆結びで縛り切ります（2ヶ所）。

縛り方がわからなくなったら「のし袋」を参考にすると良いです。
飯田宮司さん 談

諏訪神社

氏子総代・祭親連・祭囃子保存会・お船保存会の皆さんの

令和の仕様で届けた 真々部 愛

「真々部を盛り上げよう！」という気概でこの祭りに臨んだ祭親連の山車の曳航は、より多くの地域の人に祭を知ってもらうために、順路に新しい団地を加え梓橋駅を出発しました。◆出発直後に出迎えたのは御年 89 歳の平井弘子さん。体調を崩されていましたがこの日のために一時帰宅され、自宅前では特に元気な花の御礼が行われました。◆子ども達主催のお店も初出店し盛況でした。練習に練習を重ねた祭囃子保存会の響く笛や太鼓が境内に響き、猛暑の中 11 名でお船を組み立てたお船保存会は、今年新たに豊科高校書道部にお願いした書を飾り威風堂々としたお船を披露しました。

祭親連・消防・安協の皆さん

「いらっしゃーい♪」

この日を心待ちにしていた平井さん

祭親連の皆さんの新しい取り組み「出店」

祭りの高揚感を添える祭囃子保存会の皆さん

お船保存会の皆さんによるお船の曳航

「わっしょい、わっしょい！」と元気な子ども神輿

例大祭を統括する氏子総代の皆さん

公民館同好会の活動紹介

公民館

公民館関連の各種団体をご紹介します。仲間と集う皆さん、お祭りで活躍されている皆さん。地域の美化に尽力される皆さん、活躍のほんの一場面ですが、全12団体の活動を紹介していきます。

健康麻雀クラブ

「リーチ」「ロン」「合ってるずらねえ」と賑やかな声が響き、指先も頭も使う、健康マージャンです。

健康体操の会

ハイ、しっかり背筋をのばしますよ～。先生の声で、ひねったり伸ばしたり、皆さん簡単に出来るんです。すごい！ぜひ見学、ご入会を。

真々部コーラス

みんなで歌うのが楽しいです。メンバー募集中。少ないメンバーだけど、がんばってますよ！

真々部詩吟の会

「べんせいしゅくしゅく～、よるかわをわたる～」漢詩「川中島」の一説。節を付けて読む詩吟、吟ずればその場の情景が見えてくるようです。

はつらつ会

今日は何をやるのかな？と集う皆さん。手芸も染物も、テーブルゲームも、色々な事を。どうも今日はマージャンからスタートのようです。

趣味や健康づくり、古くから伝わる文化の継承、ボランティア活動にと幅広く活躍されています。

既に各場面で活躍の皆さんはご紹介させて頂いていますが、年間シリーズで12団体の皆さんの活動の様子をご紹介させて頂きます。

乞うご期待！？

・活動日時は真々部区HP公民館使用カレンダー参照を・

編集独り言

二年半前、長年勤めた会社を定年退職、在宅で仕事を始めた。仕事以外にもやることが増え、生活スタイルはガラリと変化。運動不足解消のため、ウォーキングも日課となった。ようやくそれらに馴染んできた今春、新たなチャレンジをすることとなった。真々部新聞の編集委員である。

お誘いは、わりと気軽に引き受けた。取材をして、写真を撮り、記事にまとめれば、あとは印刷屋さん任せ程度に考えていたのである。しかし実際は全く異なり、紙面作りすべてを自分たちでやっていることがわかった。これは大変なことになったと愕然とした。

あれから半年。先輩方の丁寧な指導を受け、徐々に慣れてきた。でも、まだまだ半人前。思うようにできなかったり、時間がかかったりすることも多い。

最近、我が家のセキセイインコが覚えたての「なんくるないさー」を連発している。「(しっかり努力していれば)なんとかなるさ」という意味の沖縄の方言。編集に限らず、こんな気持ちで生きていければいいんだけどなあ。　(お)